

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月1日

事業所名 放課後等デイサービス ビープラス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			利用者が増えたときは、検討が必要し、バージョンの組み換え等に対応しています。	
	2	職員の配置数は適切である	6			病欠等で配置の課題があるが、同経営事業所内で補充していく方針。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	3		十分とはいえないので、今後の検討課題としております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			支援計画に沿って、随時ミーティング等を行っている。振り返りと共に、目標の再設定も行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			毎年のアンケートにて、業務改善に繋げております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			HPにて公表しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6			現在、第三者委員会をお願いしており、評価待ちとなっております。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			発達障害についての動画を使った研修等を行っています。		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			保護者との面談だけでなく、相談支援専門員と連携し、課題やニーズを支援者間で話し合っ分析し、放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			支援者全員で話し合い、情報を出し合いながら立案、計画している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			アイデアを出し合いながら、新しいことを取り入れたり、利用児童にリクエストを聞いたりして工夫しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			目的や目標を決めて支援の計画を考え、支援員に共有し、それぞれの支援計画に基づいて支援方法・留意点を確認して支援しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			計画を立て打ち合わせをし、当日の活動や役割分担について確認した後、支援を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			必ず振り返りを行い、情報共有を徹底しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			日々の記録を毎日行い、オンラインでそれぞれ保護者に開示している。また、その都度、支援員間にて振り返りを行い、支援の改善に繋がっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			モニタリング後に、計画の見直しを行っている。児童に合わせた支援を多方面から考えられるように、児童発達支援管理責任者と担当を中心に相談して、内容を詰めています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			複数を組み合わせ支援を行っています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児童発達管理責任者と担当支援者が出席するように努めています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			時間割りをコピーして事業所で行事や下校時刻の確認、迎時に先生との情報交換を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			6	現在、医療的ケアを必要とする利用児の在籍はありません。受け入れる場合は、連絡体制を整えられるように努めます。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			今後必要な時に保育所等との情報共有に努めております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			6	個別支援計画やケア記録などの情報を蓄積し、移行の際などに情報提供を考えております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			担当の基幹センターなどに問い合わせを行い、相談して助言を受けております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			6	地域の行事やこども食堂での活動で交流を行っております。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1		今後、機会が増えてくれば、参加を考えています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	6			ケア記録のスマートフォンでの閲覧やアプリ、送迎の際等に情報交換をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			簡単な助言等を行っているが、今後時間を作ってトレーニングの機会を作りたいと考えている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時や気になった時等にしっかり説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			送迎の際やSNSアプリ等で相談があった時は、助言や支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			6	今後、保護者会等で、職員を交え話し合いやトレーニング等で支援を行いたいと考えている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情受付の担当者を決めており、重要事項説明書に事業所以外の苦情の相談窓口を記載している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			療育システムを使い、保護者専用ページにて活動や行事予定を見ることが出来るようにしています。	
	35	個人情報に十分注意している	6			適切に保管し、一部の職員しか扱えないようにして注意を払っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			しっかり話を聞き、よく確認するようにして気を付けている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			6	今後、活動を広げていきたいと考えております。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3		今後、保護者への周知を行って参りたいです。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			児童と避難場所の確認や防災を考えるイベントなど行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			研修を行い、虐待防止に努めております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1			現在では身体拘束の必要性がある児童はいない。今後身体拘束が必要性が求められる場合、保護者と話し合いにて十分な説明を行い、十分な理解を得たうえで対応していく所存でございます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			指示書を頂き、対応しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			事業所の活動で危険予知やヒヤリ・ハットを行い事例集を作成する予定です。	